

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

男女がお互いの人権を尊重し、社会のあらゆる分野の活動に参画する男女共同参画社会の実現を目指すにあたって、今後の総合的かつ効果的な施策や計画を検討するための資料を得ることを目的とします。

2. 調査の方法

■市民意識調査

- | | |
|---------|----------------------------|
| ①調査地域 | 高槻市全域 |
| ②調査対象 | 満18歳以上の市民(令和3年6月現在) |
| ③調査対象者数 | 2,300人 |
| ④抽出方法 | 住民基本台帳からの年齢別・男女別層化無作為抽出 |
| ⑤実施方法 | 郵送による調査票の配付と回収、及び葉書による督促1回 |
| ⑥調査期間 | 令和3年(2021年)8月20日～9月30日 |

■小学生から高校生へのアンケート調査

- | | |
|---------|--|
| ①調査対象 | 市内の学校に通学する小学5年生・中学2年生・高校2年生 |
| ②調査対象者数 | 小学5年生 563人・中学2年生 653人・高校2年生 471人 |
| ③抽出方法 | 教育委員会を通して、市内小・中学校に依頼、市内高校に直接依頼 |
| ④実施方法 | 児童・生徒に調査票を手渡し、後日、回収するという方式、または教室に集合した児童・生徒が定められた時間内にその場で調査票を記入する方式とし、どちらの方式で実施するかは、学校ないしクラス担任の判断に任せた |
| ⑤調査期間 | 令和3年(2021年)9月8日～10月5日 |

3. 調査の内容

■市民意識調査

- ・男女平等について
- ・子育てや教育について
- ・仕事について
- ・ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について
- ・介護について
- ・男女の人権について
- ・防災・災害復興対策について
- ・男女共同参画社会の推進に向けて
- ・フェイスシート(回答者の属性)

■小学生から高校生へのアンケート調査

- ・回答者と家庭における手伝いについて
- ・「男だから」「女だから」と言われた経験
- ・性別による役割分担の意識
- ・男女平等について
- ・男女の人権について

I 調査の概要

4. 回収結果

■市民意識調査

	発送数 (A)	回収数 (B)	回収率 (B÷A)	有効回収数 (C)	有効回収率 (C÷A)	無効数 (C-B)
市民意識調査	2,300	1,120	48.7%	1,117	48.6%	3
標準抽出	2,000	1,024	51.2%	1,023	51.2%	1
追加抽出	300	96	32.0%	94	31.3%	2

	発送数	有効回収数	有効回収率
標準抽出	2,000	1,023	51.2%
10歳代	46	17	37.0%
20歳代	223	73	32.7%
30歳代	246	105	42.7%
40歳代	351	167	47.6%
50歳代	323	179	55.4%
60歳代	252	148	58.7%
70歳以上	559	320	57.2%
年齢不明	-	14	-
追加抽出	300	94	31.3%
10歳代	51	20	39.2%
20歳代	249	74	29.7%

※市民意識調査の追加抽出による得た回答の集計について

市民意識調査の10・20歳代については、若年層の意識分析に必要な回収数を得るため、年齢構成別に設定した標本数2,000人に加え、18～19歳51人、20歳代249人を各々追加抽出し、調査票を発送した。追加抽出により回答を得たサンプルは、年代別集計に限り含めて集計を行っており、全体集計、設問間のクロス集計、経年比較、大阪府調査との比較では追加抽出したサンプルは含めていない。

■小学生から高校生へのアンケート調査

	配付数 (A)	回収数 (B)	回収率 (B÷A)	有効回収数 (C)	有効回収率 (C÷A)	無効数 (C-B)
小学生	563	529	94.0%	528	93.8%	1
中学生	653	594	91.0%	594	91.0%	-
高校生	471	450	95.5%	450	95.5%	-

5. 報告書の見方

- (1) 集計結果はすべて、小数点第2位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがある。
- (2) 回答比率(%)は、その質問の回答者数を基数(n=Number of case)として算出した。なお、回答者がいない場合は、図では「0.0」、表では「-」と表記した。
- (3) 複数回答のパーセントについては、サンプル数に対する割合を示しており、合計しても100%とはならない。
- (4) 百分比(%)どうしの比較における差は、原則として「…ポイント」という表現とした。
- (5) 調査結果の考察文中にある二重括弧(『…』)は複数の選択肢を合計したことを表す。(例:「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」→『そう思う』)
- (6) 設問によっては、本市が平成22年度に実施した「高槻市男女共同参画に関する市民意識調査」および令和元年度に内閣府が実施した「男女共同参画社会に関する世論調査」との比較を行っている。
- (7) 本調査は、標本調査であるので、調査結果には統計上の誤差(標本誤差)が生じる。本調査の主な標本誤差(信頼度を95%にした場合)の幅は次の通りである。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

ただし
 N = 母集団数
 n = 有効回答数
 P = 母集団の比率 (%)

	母集団数 (N)	有効回答数 (n)	母集団の比率(P)					
			90%	80%	70%	60%	50%	
			10%	20%	30%	40%		
全体	297,768	1,023	±1.8	±2.4	±2.8	±3.0	±3.1	
女性	157,351	613	±2.4	±3.2	±3.6	±3.9	±4.0	
男性	140,417	392	±3.0	±4.0	±4.5	±4.8	±4.9	
女性	10・20歳代	19,985	116	±5.4	±7.3	±8.3	±8.9	±9.1
	30歳代	18,488	68	±7.1	±9.5	±10.9	±11.6	±11.9
	40歳代	26,478	110	±5.6	±7.5	±8.5	±9.1	±9.3
	50歳代	24,350	94	±6.1	±8.1	±9.2	±9.9	±10.1
	60歳代	19,891	93	±6.1	±8.1	±9.3	±9.9	±10.1
	70歳以上	48,159	194	±4.2	±5.6	±6.4	±6.9	±7.0
男性	10・20歳代	20,032	67	±7.2	±9.6	±11.0	±11.7	±12.0
	30歳代	18,202	35	±9.9	±13.2	±15.2	±16.2	±16.5
	40歳代	25,792	56	±7.8	±10.5	±12.0	±12.8	±13.1
	50歳代	23,712	83	±6.4	±8.6	±9.8	±10.5	±10.7
	60歳代	17,497	55	±7.9	±10.6	±12.1	±12.9	±13.2
	70歳以上	35,182	124	±5.3	±7.0	±8.1	±8.6	±8.8